

工事写真報告書

工事番号 平成 26 年度

工事名 Y 様邸

工事箇所 屋根・外壁・その他塗装工事一式

工事住所 筑紫野市 岡田

工期 着手 平成 年 月 日

竣工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



屋根

ソーラーパネルの下の部分は今回は
塗装しません。



屋根 カラーベスト

この素材はセメント：パルプ繊維(又はアスベスト)が85：15で作られています。

劣化し割れや反りがひどくなり葺き替えとなると、アスベストが入っている場合は処分費がかなりかかりますので、葺き替え前の早めの塗装と維持をお勧めをします。



軒天

経年劣化し前の塗装の違いも出てきています。

この部分は通気性の良い軒天専用塗装を二回していきます。



同上



洞差し(幕板)

劣化し割れているところがあります。

この部分はシーリング補修をおこない、塗装をしていきます。



ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



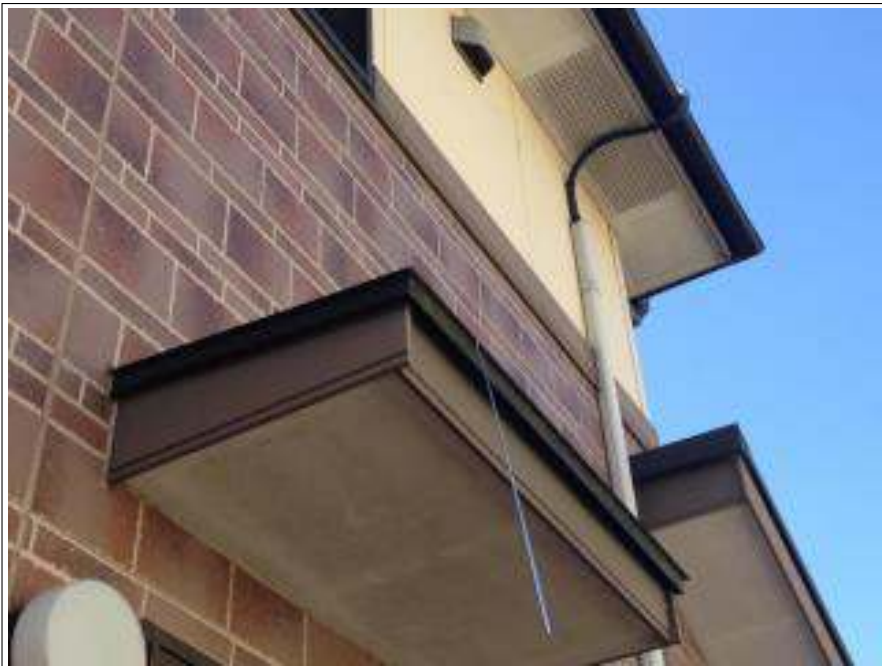
樋

同上



シャッター部

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



小庇

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



土台水切り

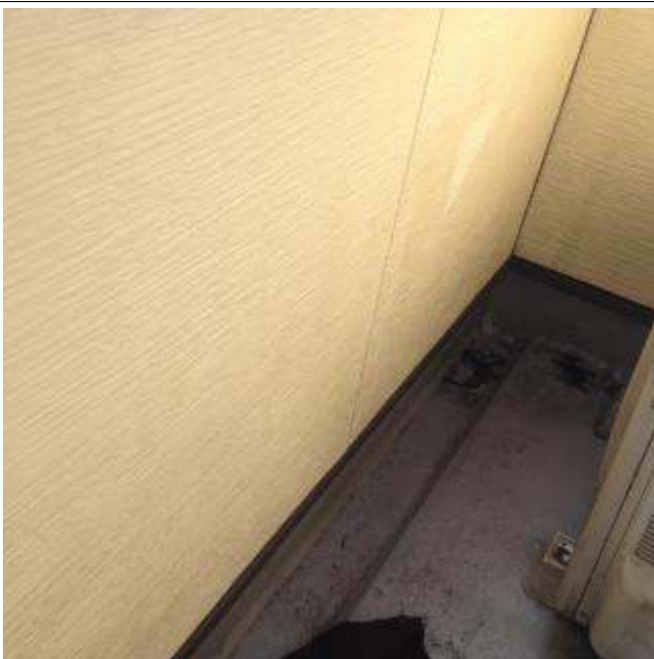
同上



基礎 クラック

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

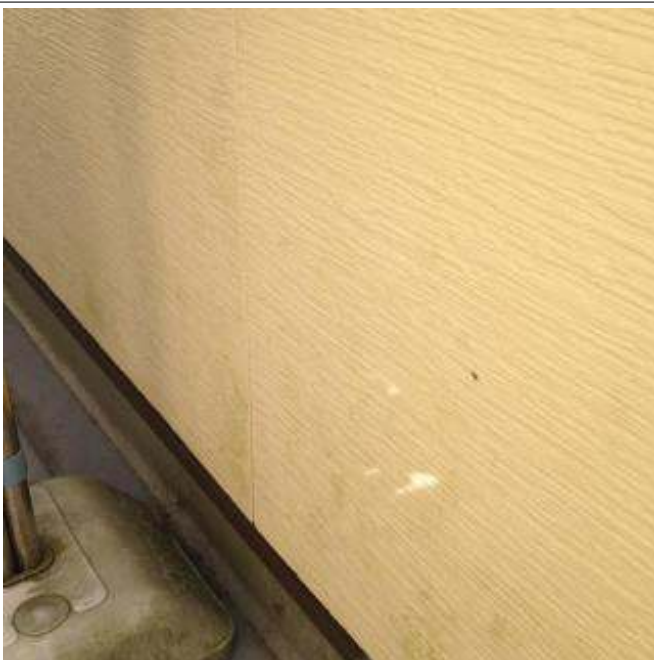
中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



外壁カビ発生部

カビの発生が見られます。

カビの上にくら良い塗装をしても、カビの根が残っている以上塗膜を突き破って表面化してきますので、カビの根を抑える必要があります。



外壁カビ発生部

対処方法

いくら高圧洗浄をかけても、カビの根が残ってしまいますので、カビの根を殺す防カビ下塗りをおこない、下塗り・上塗り二回の三層四工程をおこないます。



外壁の反り

外壁の劣化やクラック・シーリングの傷みが原因で外壁が水や湿気を吸って乾いてを繰り返して外壁が反ってしまっています。

反ってしまうと二度と反りは戻りませんので、反りがひどくなる前の塗装をおすすめします。



シーリング劣化部

シーリングの劣化が激しい部分は打ち替え補修をおこない、塗装をしていきます。



シーリング劣化部

同上



サッシ廻りシーリング劣化部

見落としがちですが、サッシ廻りも劣化している部分がありますので、劣化している部分は打ち増しをおこない塗装をしていきます。



サッシ廻りシーリング劣化部

同上



シーリング補修部分

このまま塗装で大丈夫ですが気になる場合は、色を合わせてタッチアップして塗装をおこないます。
